



大学と地域の防災・減災集会 2019 冬

令和元年秋に来襲した台風第15号、19号、21号により、神奈川県下においては、死者15名が発生するなど多大な被害が発生しています。今回は、神奈川県下で活発に防災・減災研究を行っている大学と学生、住民の方々、大学研究者、台風による被災者支援に携わった市民団体・ボランティア団体、学生・生徒などが集い、交流・連携を深めるための防災・減災集会を開催します。

○開催日時：令和元年(2019年)12月21日(土) 13時~18時(予定)
○開催場所：関東学院大学 金沢八景キャンパス Foresight21 10階大会議室

第1部 関東学院大学の防災・減災研究と地域連携

- ・防災・減災・復興学研究所について(規矩大義 関東学院大学学長)
- ・関東学院大学の地域連携事例(山口恵美 研究助手)

第2部 大学と地域・広域連携(市域・県域、被災地等)

- ・横浜市立大学の防災研究と地域支援(横浜市立大学 石川永子准教授)
- ・防災Mapづくりなどによる地域連携(東海大学土木工学科 梶田佳孝教授)
- ・まち保育と防災・減災(横浜国立大学 稲垣景子准教授)
- ・学生消防団の大学間連携(横浜桐蔭大学 佐藤榮一 客員教授)
- ・神奈川大学における地域連携活動：防災塾・だるま、人と智のネットワーク、佐藤ゼミ、曾我部研究室(神奈川大学 荻本孝久教授、佐藤ゼミ：ウルタド・ルイスほか、越智徳有、曾我部研究室：佐塚・原)
- ・ネパールにおける防災教育センターの設計、持続的な防災教育活動拠点として(神奈川大学 長谷川明 工学研究所特別研究員)

第3部 ポスター発表

関東学院大学の学内建物における地震観測(渡部 洋 関東学院大学准教授) / 関東平野における長周期地震動の大きさと卓越周期：中地震の波形データの解析結果(吉本和生 横浜市立大学教授) / 横浜市を対象とした強震観測と常時微動の比較事例(落合 努 神奈川大学助手) / 令和元年台風第15号、19号災害後の金沢区工業団地・川崎市等の災害支援活動(神奈川大学ウルタド・ルイス、関東学院大学守屋貴大ほか) / 曾我部研究室での被災地支援等(神奈川大学) / 学生によるキャンパス防災拡充に向けた提案～東洋英和女学院大学の事例(東洋英和女学院大学桜井愛子ゼミ) / ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!の教育現場での活用(防災&情報研究所) / 防災塾・だるま

第4部 令和元年台風災害等の発生に伴う防災研究課題と学生の連携

- ・令和元年台風第15号、第19号台風の特徴と新たな課題(時事通信社 中川和之)
- ・災害ボランティア活動の展開(神奈川災害ボランティアネットワーク)
- ・学生主体の防災・減災活動/被災地支援活動報告/大学間連携について：関東学院大、横浜市立大学、神奈川大学、専修大、横浜桐蔭大、東海大、日体大、鎌倉女子大、東洋英和女学院大学、IVUSA など

○意見交換・交流促進会：防災・減災活動活性化方策/大学間連携等について

○参加費：無料(定員 150名)

○主催：かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク

○後催：関東学院大学、神奈川大学、神奈川新聞社

防災塾・だるま、神奈川災害ボランティアネットワーク

○参加申込・問い合わせ先：(株)防災&情報研究所

e-mail：idpis2@idpis.co.jp

Tel：03-3249-4120

Fax：03-3249-7296

“防災・減災集会2019冬”の開催にあたって



私どもは、平成29年度に文科省の研究ブランディング事業「～いのちを守り、希望を繋ぐ～新しい防災・減災・復興学の提唱」の採択を受け、「防災・減災・復興学研究所」を設立しました。工学系の防災技術に限定しない、学内のあらゆる分野の研究者とそこに繋がる学生が参画する研究所です。「防災」という言葉は、決して専門家のためでも、行政のためでもなく、市民のために活かされる言葉です。それを具現化するには、さまざまな知見や思いを持った人々と、それを担うべき人々による、協働と他者への配慮に基づく行動が何より欠かせません。

荻本先生を中心に発足されたネットワークのお仲間に入れて頂くと同時に、市民のための防災・減災・復興学を追究してゆきたいと思っております。

(関東学院大学学長／防災・減災・復興学研究所 所長 規矩大義)

大地震や風水害、火山災害などの災害危険がきわめて高い神奈川県において、本ネットワークは、平成25年度から3年をかけて実施した文部科学省からの助成研究「神奈川県に係る防災研究データベースの活用を起爆剤とした官学民連携による地域防災活動活性化研究」によって把握された、神奈川県下の地方自治体、企業、学校、研究者や地域の防災に取り組む方々と支援する方々をつなぎ、平成28年3月に発足後、自治体、自主防災組織、ボランティア団体、学校、大学研究者等による研究集会を開催してきました。



このたび、関東学院大学規矩学長のご好意により、関東学院大学において、同大学の防災・減災・復興研究のご報告をいただくほか、東海大学、横浜市立大学、桐蔭横浜大学、今般の台風災害で被災地支援活動を行った学生なども発表を行い、防災・減災活動を活性化するにはどうしたら良いか意見交換を行います。

学生や住民の方々、教師、企業、自治体、消防署・消防団の方々など、多彩な顔ぶれが集う本集会が、大学と地域・学生達が連携して活動を展開していく上での一助になればと願っています。

“かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク” (代表 / 神奈川大学教授 荻本孝久)

<防災・減災集会会場案内>

- ・ 関東学院大学 金沢八景キャンパス
フォーサイト21 10階大会議室
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1
TEL: 045-786-7002 (代)
- ・ 京浜急行線金沢八景駅下車 徒歩15分
または京急バス「関東学院循環」乗車約5分

関東学院大学 金沢八景キャンパス
フォーサイト21 10階会議室



2019年12月21日(土) 防災・減災集会 参加申込書	
参加団体名(所属団体)	
参加者氏名	
連絡先	電話番号 e-mail address:
連絡先住所	
懇親会参加の有無	参加(一般 2,000円、学生 1,000円) ・ 不参加
備考	